

自治公民館通信「結いの心」をリニューアル！

令和4年4月から発行しております「自治公民館通信」ですが、新年度からリニューアルし、新たな紙面でお届けいたします。今までは、A4版両面印刷でしたが、公民館や回覧板、掲示板等で活用していただこうと考え、A3版印刷としました。また、自治公民館通信のテーマである「結いの心」を中心に据えて、その周りに自治公民館活動での活動や自治公民館に関わる情報をお届けしてまいります。これからも、よろしくお願いいたします！

※令和7年度も各自治公民館での活動取材させていただき、ホームページ、SNS、通信等で紹介させていただきますので、引き続き情報提供をお願いいたします。

各自治公民館でも活動がスタート！

3月には自治公民館の「総会」が実施され、令和6年度の活動や決算報告、新しい役員体制の決定などが行われたことと思います。また4月になると、新旧役員の引継ぎ会や新年度総会が予定されているのではないのでしょうか？

このような中、地域全体で考えていただきたいのは・・・役員さんだけが活動を進めるのではなく、地域全体で全員が活動すること。「一人の百歩」ではなく「百人の一步」です。まさしく**全員が「当事者」「主役」**であることです。しっかりと思いをつないでいきましょう！



1月：岩瀬自治公民会臨時総会の様子

つながり、絆を大切にすること

ある館長さんから心温まるお話をお聞きしました。

いろいろな理由から自治公民館を脱会される方がでている中、「自治公民館を抜けてはだめ。地域と一緒に頑張らなさい。」と亡くなられた方から遺言があったということです。また、「町外の病院に入院するので、地域での活動には参加できないのですが、地区費を収めさせてください。」との申し入れがあったということです。**社会情勢が不透明であり、自己中心的な風潮が見られる現代**ですが、お互いを思いやり、協力して生活することの大切さや、地縁的なつながり、地域に自分をゆだねることの意味を思い起こすエピソードでした。「**ヒトは一人では生きていけない！**」誰しも分かっていることなのですが、生きていくことでの永遠の課題でもあると思います。

令和6年度の活動から 活性化から豊饒化へ！

令和5年5月の「新型コロナウイルスの感染法上の5類移行」に伴い、各自治公民館や各団体等で、様々な活動が繰り広げられるようになってきました。コロナウイルス感染拡大の期間には、地域内、町内での交流やイベント等の実施がとて厳しかった状況から、ようやく回復してきました。しかし、**コロナ前のような状況には、まだ完全に戻っておらず、地域内の「連帯感の低下」が叫ばれるようになっています。**コロナは、**地域での活動の重要性を、私たちに問いかけることになったのではないのでしょうか。**

コロナからの回復を遂げた自治公民館では、今までとは違った活動も出てきています。例えば、「被災時の炊出し訓練」を赤十字奉仕団と連携して実施したり、地域の消防・警察関係者等の協力により親子で防災訓練を実施したり、自主防災組織を設立、防災士資格を取得し、防災訓練を実施されるなど、**いろいろな工夫により活動の活性化**が図られています。

これからの自治公民館活動は、単独の活動をより充実していくために、様々な個人・組織・団体等と連携し、新たな活動に移行していく時代ではないのでしょうか？「誰かがやってくれる」から「**みんなで創り上げていく**」

全員が「当事者そして主役」となり地域を豊かにする「豊饒化」につなげていきましょう！

これから予想される大規模災害に備え、自治公民館活動で地域の「絆」を深めよう！今こそ、「防災」「減災」「防犯」「福祉」などに対する「地域力」を高めよう！

阪神・淡路大震災から30年「今、私たちは・・・」

先日、神戸に行く機会があり、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」に行きました。折しも阪神・淡路大震災から30年ということで、災害を振り返るとともに、防災・減災について考えさせられる「特別展示」があり、とても勉強になりました。直接災害に遭遇してはいませんが、「**百聞は一見に如かず**」被災者の声や記録映像を目の当たりにし、自分たちの住む地域に思いを巡らせることとなりました。「**災害は忘れた頃にやってくる**」といいますが、災害が発生してからでは遅い！「**今のうちに、できることから取り組む**」ということを学ばせていただきました。

＜特に印象に残ったこと＞

1 建物の耐震化・被災対策

阪神・淡路大震災における一番多かった**死亡原因は、家具や建物による「圧死・圧迫死」**だったそうです。そのため国は、建物の「耐震基準」を見直しました。まずは、家具の固定、建物の耐震化を進めましょう！また、**家族や親族との就労場所の情報共有により、被災後の救出活動の円滑化**を図りましょう！

2 防災用品の備え 「備えよ常に！」

日常的な備えは、できることから始めましょう！**防災用品は、必要量を確保するとともに、定期的に点検し、防災意識を高めておきましょう！**

3 地域で楽しい訓練・イベントをしよう！

日頃から隣・近所や地域の人たちと仲良く交流しましょう。防災の要素を取り入れたイベントなどを実施し、**楽しみながら防災の意識や地域の防災力を高めましょう！**



阪神・淡路大震災（1995）



東日本大震災（2011）



熊本地震（2016）



能登半島地震（2024）

自治公民館通信 令和7年4月号

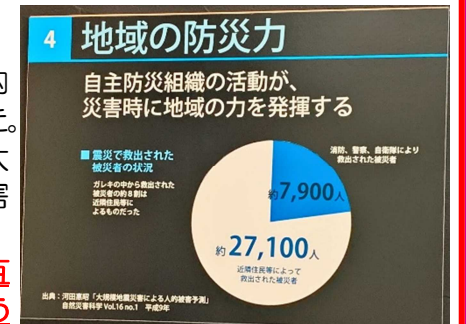
結いの心

地域みんなで結ぶ大きな絆



「地域力」で命を守ろう！

今年1月13日（月）に発生した地震は、県内最大震度5弱、木城町でも震度4を記録しました。気象庁が「南海トラフ臨時情報」を発表し、巨大地震に対する注意を呼びかけました。大規模災害時には消防・警察等の身近な公的な助け「公助」には限界があります。**地域で助け合う「共助・互助」による「地域の防災力」を高め、いざという時に備えていきましょう！**



阪神・淡路大震災資料より

自治公民館通信担当 自治公民館活性化支援員 大津 新